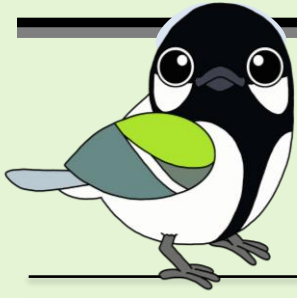


しじゅうから



小鳥の森で観察してみよう 143

ウグイス

分類 スズメ目 ウグイス科
大きさ：14～16cm

鳴き声：ホーホケキョ、チャツチャツ

小鳥の森で見られる時期
・1年中

小鳥の森で見られる場所
・ササやぶや落ち葉が積もった下の地面など



あらかわ みこと さん（10才）が描いてくれました。

4月 いきもの森予報

花満開！

暖かな日が心地よい4月。枝だけだった寂しげな森の中が、にぎやかな春の雰囲気へと変わります。やさしい色の春の花が咲き始めるのもこの時期です。

ウワミズザクラは1cmほどの小さな白い花。高い木の枝でたくさんの花をまとまらせて咲かせます。細長いブラシのような変わった形。ネイチャーセンターの近くで観察できますよ。

ヤマブキの花は黄色。500円玉ぐらいの大きさです。みなさんの身長ぐらいの高さで枝を弓（ゆみ）のようにしならせ、ずらりと並んで咲きます。1200年以上も昔の本にも出てくるほど日本人に親しまれている花。森のあちこちで見られます。

1本の茎（くき）から2つの花が咲くニリンソウなど、足元にもかわいらしい姿が。花盛りの春の森。ぜひ歩きにきてくださいね。



ウワミズザクラ



ヤマブキ



ニリンソウ

→シジユウカラ
のさえずり

←ヤマガラ

→ウグイス



うつくしい声、練習中

冬と春が行ったり来たりの3月。雪が積もった日もありましたが、野鳥の恋の季節は始まりました。

春になると野鳥のオスは、メスにアピールするため、なわばりを守るために「さえずり」という特別な鳴き方をします。だれもが知っているウグイスの「ホーホケキョ」もさえずりです。今年は3月13日に初めて鳴いているのを確認しました。うつくしい声ではなく、少し音が外れていました。どうやらまだ練習中。

シジユウカラは速いテンポの「ツピーツピー」、ヤマガラはゆっくりと「ツツピー、ツツピー」と聞こえます。

小鳥の森にひびくさえずりは、生き物たちでにぎやかになる春のスタートを知らせてくれているようでした。

自然のお便り

自然の色の名前

数えきれないほどのある色の名前。日本には生活のそばにあった植物から付けられたものもたくさんあります。今回は「タケ」に注目してみましょう。

春になると竹林の地面からタケノコがニョキニョキ生えてきます。あっという間に私たちより大きくなりますね。この生えてきたばかりのタケのような黄色っぽい明るい緑色を「若竹色（わかたけいろ）」と呼びます。タケが早くまっすぐに伸びる様子から、力強く未来へ進むことをイメージさせる色です。

背の高いタケですが、成長するのは実は1年だけ。少しずつ色が変わっていきます。青っぽくなった緑色を「青竹色（あおたけいろ）」、灰色が強くなった緑色を「老竹色（おいたけいろ）」と名前を付けました。

自然から付けられた色の名前。みなさんも探してみてくださいね。

イベント報告

お山の大将あつまれ！

3月10日（日）に「お山の大将あつまれ！」を行いました。今回は「植樹（しょくじゅ）体験」。

かんさつ広場がたくさん生き物のエサ場や住みかになるように、幼木（ようぼく（芽が出てあまり年がたっていない木））を植えました。

今回はアカメガシワ、クロモジ、イボタノキ、ムラサキシキブなどを植樹。これらの幼木はすべて園内から採集したものです。

子どもたちは少し苦戦しながらも、力を合わせて植える穴を掘り進めていました。その後、小鳥の森で作った腐葉土（ふようど（落ち葉をミミズや虫などが食べてフンにしたもの））と土をかぶせて終了。

最後に木の種類を書いた手作り看板を取り付けました。

植樹の様子→



*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口市宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2024年4号№454 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / NPO法人野鳥の会ふくしま



小鳥の森HP